

第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2024年度改訂版） 変更内容一覧

資料3

該当ページ	該当箇所	変更内容等	変更前	変更後																																				
9～10	基本方針	文言整理	(前略) (1) デジタル化の推進 (2) SDGsの推進 (3) 多様な主体との連携の推進 (4) (新設)	(前略) (1) デジタル化の推進 (2) SDGsの推進 (3) 多様な主体との連携の推進 (4) ライフステージに合わせた切れ目のない支援の実施 若年層を中心とした人口減少が深刻化する現状に歯止めをかけるため、結婚や妊娠・出産、子育てを望む若年層の希望をかなえ、持続可能な人口構造への転換を図ることが求められています。 本市においては、庁内横断的に連携し、就職から出会い・結婚、妊娠期・子育て期までのライフステージに合わせた支援を切れ目なく、総合的に実施することと、住みやすいまちの実現を目指します。																																				
12	基本目標Ⅰ (1) 数値目標	数値目標名称の修正	<table><tr><th colspan="2">数値目標</th><th>現状</th><th>目標</th></tr><tr><td rowspan="2">個人市民税納税義務者数</td><td></td><td>149,480人 (令和4年度)</td><td>147,600人 (令和10年度)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">個人市民税納税義務者の総所得金額</td><td></td><td>4,655億円 (令和4年度)</td><td>4,658億円 (令和10年度)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	数値目標		現状	目標	個人市民税納税義務者数		149,480人 (令和4年度)	147,600人 (令和10年度)				個人市民税納税義務者の総所得金額		4,655億円 (令和4年度)	4,658億円 (令和10年度)				<table><tr><th colspan="2">数値目標</th><th>現状</th><th>目標</th></tr><tr><td rowspan="2">個人市民税所得割納税義務者数</td><td></td><td>149,480人 (令和4年度)</td><td>147,600人 (令和10年度)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">個人市民税所得割納税義務者の総所得金額</td><td></td><td>4,655億円 (令和4年度)</td><td>4,658億円 (令和10年度)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	数値目標		現状	目標	個人市民税所得割納税義務者数		149,480人 (令和4年度)	147,600人 (令和10年度)				個人市民税所得割納税義務者の総所得金額		4,655億円 (令和4年度)	4,658億円 (令和10年度)			
数値目標		現状	目標																																					
個人市民税納税義務者数		149,480人 (令和4年度)	147,600人 (令和10年度)																																					
個人市民税納税義務者の総所得金額		4,655億円 (令和4年度)	4,658億円 (令和10年度)																																					
数値目標		現状	目標																																					
個人市民税所得割納税義務者数		149,480人 (令和4年度)	147,600人 (令和10年度)																																					
個人市民税所得割納税義務者の総所得金額		4,655億円 (令和4年度)	4,658億円 (令和10年度)																																					
13～14	①－Ⅰ 農業の振興 ◆競争力のある産地づくり	現在の取組内容に合わせた文言整理	(前略) 農業就業人口の減少や高齢化に伴う労働力不足を補うため、農業散布用ドローンや高知県が推奨するIoPクラウド「SAWACHI」などを活用したスマート農業を推進するとともに、農福連携や外国人材の受入など、本市の実情に即した体制整備を検討していきます。	(前略) 農業就業人口の減少や高齢化に伴う労働力不足を補うため、農業散布用ドローンや高知県が推奨するIoPクラウド「SAWACHI」などを活用したスマート農業を推進するとともに、農福連携や外国人材の受入など、本市の実情に即した体制整備を検討していきます。 「みどりの食料システム戦略」に沿った持続可能な農業振興に向け、耕畜連携による稲WCSの生産・活用など、循環型農業の取組を推進します。																																				
16	①－3 商業の振興 ◆街路市の活性化	現在の取組内容に合わせた文言整理	「街路市活性化構想」に基づき、外国語版パンフレットやPR動画の作成などによる街路市の情報発信の強化を図るとともに、出店基準の規制緩和等により、出店者減に歯止めをかけるなど、生活市としての街路市の魅力、集客力及び利便性の向上をめざして、活性化に取り組みます。	「街路市活性化構想」に基づき、外国語版及び日本語版パンフレットの配布やSNSの活用などによる街路市の情報発信の強化を図るとともに、出店基準の規制緩和等により、出店者減に歯止めをかけるなど、生活市としての街路市の魅力、集客力及び利便性の向上をめざして、活性化に取り組みます。																																				
17	②－Ⅰ 産業の振興 【主な事業等】 ◆地産外商の推進	瑕疵修正	・れんけいこうち新市場開拓支援事業 ・れんけいこうち地場産品販路拡大推進事業 ・ポートセールス推進事業 ・販路拡大サポート事業	・れんけいこうち圏域事業者販売等支援事業 ・れんけいこうち地場産品販路拡大推進事業 ・ポートセールス推進事業 ・販路拡大サポート事業																																				
	②－Ⅰ 産業の振興 ◆伝統産業の推進	現在の取組内容に合わせた文言整理	伝統産業の強みを活かしたブランド力や知名度の向上を図るため、県や県内市町村と連携しながら、ECサイト等を活用することで県内外に向けた伝統工芸品のPR活動や外商支援等に取り組みます。	伝統産業の強みを活かしたブランド力や知名度の向上を図るため、県や県内市町村と連携しながら、ECサイト等を活用することで県内外に向けた伝統工芸品のPR活動や外商支援等に取り組みます。 また、伝統産業全体のボトムアップを図るため、地域に根付いた将来的な伝統産業になりうる地場産業に対して認知度向上や販路拡大等の支援に取り組みます。																																				
18	③－Ⅰ 観光の振興 【主な事業等】 ◆インバウンド観光の推進	瑕疵修正	・れんけいこうちインバウンド観光推進事業 ・高知の魅力海外発信事業 ・れんけいこうち大型船舶等寄港誘致推進事業	・れんけいこうちインバウンド観光推進事業 ・高知の魅力海外発信事業 ・れんけいこうち大型船舶寄港誘致誘客促進事業																																				

該当 ページ	該当箇所	変更内容等	変更前	変更後																						
20	④ー2 いきいきと働ける環境づくり 【主な事業等】	事業の追加	・高年齢者就業機会確保事業 ・地域雇用活性化推進事業 ・就職氷河期世代雇用促進事業 ・無料職業紹介事業	・高年齢者就業機会確保事業 ・地域雇用活性化推進事業 ・業界研究ガイダンス ・インターンシップ促進事業 ・就職氷河期世代雇用促進事業 ・無料職業紹介事業 ・ <u>こうち奨学金返還支援事業</u> ・ <u>資格取得支援事業</u>																						
	④ー2 いきいきと働ける環境づくり ◆雇用・就職等の促進	事業追加に伴う文言整理	(前略) 教育機関と連携した職場体験、インターンシップなどの取組を通じて学生段階から職業観や勤労観の醸成を図ります。また、関係機関と連携し、市内企業への就職希望者に対する支援を行うことにより、若者の市内企業への就職率向上に取り組めます。 (後略)	(前略) 教育機関と連携した職場体験、インターンシップや各業界の職業紹介などの取組を通じて学生段階から職業観や勤労観の醸成を図ります。また、関係機関と連携し、市内企業への就職希望者に対する支援を行うことにより、若者の市内企業への就職率向上に取り組めます。 <u>他にも、県・企業と協働した奨学金返還支援や、インターンシップ実施企業への支援、資格取得支援など市内企業の採用力向上に向けた支援に取り組めます。</u> (後略)																						
21	基本目標2 (1)数値目標	第三期移住・定住促進計画の策定等に伴う数値目標の変更	<table><tr><th colspan="2">数値目標</th><th>現状</th><th>目標</th></tr><tr><td rowspan="2">県外からの移住組数</td><td></td><td>348組</td><td>500組</td></tr><tr><td></td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	数値目標		現状	目標	県外からの移住組数		348組	500組		(令和4年度)	(令和10年度)	<table><tr><th colspan="2">数値目標</th><th>現状</th><th>目標</th></tr><tr><td rowspan="2">県外からの移住者数</td><td></td><td>540人</td><td>1,090人</td></tr><tr><td></td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	数値目標		現状	目標	県外からの移住者数		540人	1,090人		(令和4年度)	(令和10年度)
数値目標		現状	目標																							
県外からの移住組数		348組	500組																							
		(令和4年度)	(令和10年度)																							
数値目標		現状	目標																							
県外からの移住者数		540人	1,090人																							
		(令和4年度)	(令和10年度)																							
22	⑤ー1 移住支援の充実 【KPI】	第三期移住・定住促進計画の策定等に伴う目標値の変更	<table><tr><th colspan="2">KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="2">県外からの移住相談件数</td><td></td><td>394件</td><td>440件</td></tr><tr><td></td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI		基準値	目標値	県外からの移住相談件数		394件	440件		(令和4年度)	(令和10年度)	<table><tr><th colspan="2">KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="2">県外からの移住相談件数</td><td></td><td>394件</td><td>570件</td></tr><tr><td></td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI		基準値	目標値	県外からの移住相談件数		394件	570件		(令和4年度)	(令和10年度)
	KPI		基準値	目標値																						
県外からの移住相談件数		394件	440件																							
		(令和4年度)	(令和10年度)																							
KPI		基準値	目標値																							
県外からの移住相談件数		394件	570件																							
		(令和4年度)	(令和10年度)																							
	⑤ー1 移住支援の充実 【主な事業等】	事業名の変更	・移住促進に向けた情報発信 ・二段階移住の推進 ・地方創生移住支援事業 ・UIターン支援事業 ・高知市職員採用試験(UIJターン枠)	・移住促進に向けた情報発信 ・UI孫ターン支援事業 ・二段階移住の推進 ・高知市職員採用試験(UIJターン枠) ・地方創生移住支援事業																						
23	⑥ー1 定住しやすい環境づくり 【主な事業等】	事業名の変更・事業の追加	・地域活性化住宅整備事業 ・ <u>三世代同居等Uターン支援事業</u> ・空き家の利活用に向けた取組 ・関係人口づくりに向けた取組 ・光ファイバの利活用 ・ <u>(新設)</u>	・地域活性化住宅整備事業 ・UI孫ターン支援事業 ・空き家の利活用に向けた取組 ・関係人口づくりに向けた取組 ・光ファイバの利活用 ・ <u>結婚新生活支援事業補助金</u>																						
24	⑦ー1 学校教育の充実 ◆知・徳・体の充実	現在の取組内容に合わせた文言整理	基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用力向上をめざして、「第Ⅱ期学力向上アクティブ・プラン」の着実な推進により、小学校学力を全国トップレベル、中学校を全国平均まで引き上げるとともに、小学校・中学年における外国語活動と、高学年における外国語科の取組により、グローバル社会に適応する外国語教育の充実を図ります。 (後略)	基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用力向上をめざして、「第Ⅲ期学力向上アクティブ・プラン」の着実な推進により、小学校学力を全国トップレベル、中学校を全国平均まで引き上げるとともに、小学校・中学年における外国語活動と、高学年における外国語科の取組により、グローバル社会に適応する外国語教育の充実を図ります。 (後略)																						
	⑦ー1 学校教育の充実 ◆保幼小連携・接続の充実	現在の取組内容に合わせた文言整理	保幼小連携・接続を推進する「保・幼・小連携推進地区」等の取組における教職員の連携等を通して、子どもの姿を中心に据えて互いの教育内容を話し合い、 <u>架け橋期のカリキュラムや教育方法の工夫・改善</u> に取り組めます。 (後略)	保幼小連携・接続を推進する「保・幼・小連携推進地区」等の取組における教職員の連携等を通して、子どもの姿を中心に据えて互いの教育内容を話し合い、 <u>架け橋期のカリキュラムの作成や教育方法の工夫・改善</u> に取り組めます。 (後略)																						

該当 ページ	該当箇所	変更内容等	変更前	変更後																	
25	⑦-2 教育環境の整備 【KPI】	基準値の修正	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>地域と協働して学校づくりを行っている学校数</td><td>57校 (令和4年度)</td><td>59校 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	地域と協働して学校づくりを行っている学校数	57校 (令和4年度)	59校 (令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>地域と協働して学校づくりを行っている学校数</td><td>55校 (令和4年度)</td><td>59校 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	地域と協働して学校づくりを行っている学校数	55校 (令和4年度)	59校 (令和10年度)					
	KPI	基準値	目標値																		
	地域と協働して学校づくりを行っている学校数	57校 (令和4年度)	59校 (令和10年度)																		
	KPI	基準値	目標値																		
地域と協働して学校づくりを行っている学校数	55校 (令和4年度)	59校 (令和10年度)																			
⑦-2 教育環境の整備 ◆教育環境, 学校組織の充実	現在の取組内容に合わせた文言整理	学校・家庭・地域との協働による教育活動の充実や地域教育力向上を図るため、「地域学校協働本部」や「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」の拡大・充実に取り組みます。 (後略)	学校・家庭・地域との協働による教育活動の充実や地域教育力向上を図るため、「地域学校協働活動」や「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」の拡大・充実に取り組みます。 (後略)																		
⑧-1 青少年の健全育成 【KPI】	総合計画後期基本計画第2次実施計画登載事業の評価指標と合わせるためのKPI変更	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>青年センター登録団体数</td><td>33団体 (令和4年度)</td><td>42団体 (令和10年度)</td></tr><tr><td>青少年協ブロック共同事業参加者数</td><td>605人 (令和4年度)</td><td>1,250人 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	青年センター登録団体数	33団体 (令和4年度)	42団体 (令和10年度)	青少年協ブロック共同事業参加者数	605人 (令和4年度)	1,250人 (令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>青年センター年間利用者数</td><td>77,653人 (令和4年度)</td><td>87,000人 (令和10年度)</td></tr><tr><td>青少年対策推進本部委員委嘱者数</td><td>933人 (令和4年度)</td><td>950人 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	青年センター年間利用者数	77,653人 (令和4年度)	87,000人 (令和10年度)	青少年対策推進本部委員委嘱者数	933人 (令和4年度)	950人 (令和10年度)
KPI	基準値	目標値																			
青年センター登録団体数	33団体 (令和4年度)	42団体 (令和10年度)																			
青少年協ブロック共同事業参加者数	605人 (令和4年度)	1,250人 (令和10年度)																			
KPI	基準値	目標値																			
青年センター年間利用者数	77,653人 (令和4年度)	87,000人 (令和10年度)																			
青少年対策推進本部委員委嘱者数	933人 (令和4年度)	950人 (令和10年度)																			
⑧-1 青少年の健全育成	現在の取組内容に合わせた文言整理	子どもの安全を守る運動（学校安全パトロール等）やあいさつ運動をはじめ、多様な遊びの場の提供や体験活動の推進に取り組む青少年育成協議会への支援を通して、地域で子どもを守り育てる意識の醸成と活動の推進に取り組みます。 (後略)	青少年の健全な育成を図る高知市青少年対策推進本部では、子どもの安全を守る運動（学校安全パトロール等）やあいさつ運動をはじめ、多様な遊びの場の提供や体験活動の推進に取り組む青少年育成協議会への支援を通して、地域で子どもを守り育てる意識の醸成と活動の推進に取り組みます。 (後略)																		
27	⑧-3 交流・連携の推進 【KPI】	KPIの修正	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>包括連携協定に基づく連携事業のうち 地方創生に資する取組事業数</td><td>238件 (令和4年度)</td><td>210件以上 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	包括連携協定に基づく連携事業のうち 地方創生に資する取組事業数	238件 (令和4年度)	210件以上 (令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>包括連携協定に基づく連携事業数</td><td>258件 (令和4年度)</td><td>280件以上 (令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	包括連携協定に基づく連携事業数	258件 (令和4年度)	280件以上 (令和10年度)					
KPI	基準値	目標値																			
包括連携協定に基づく連携事業のうち 地方創生に資する取組事業数	238件 (令和4年度)	210件以上 (令和10年度)																			
KPI	基準値	目標値																			
包括連携協定に基づく連携事業数	258件 (令和4年度)	280件以上 (令和10年度)																			
29	⑨-1 妊娠・出産期等の支援 【主な事業等】	事業名の変更	・妊婦一般健診事業 ・産後ケア事業 ・利用者支援事業（子育て世代包括支援センター） ・ <u>パパママあんしんスタート事業</u>	・妊婦一般健診事業 ・産後ケア事業 ・利用者支援事業（子育て世代包括支援センター） ・ <u>パパママ教室</u>																	
	⑨-1 妊娠・出産期等の支援	現在の取組内容に合わせた文言整理	将来、家庭を築くための思春期の健康教育や不妊治療への支援を継続します。妊娠期から子育て期にわたり、身近で切れ目のない伴走型の相談支援を行うため、妊婦全員との面接を継続し、子育て世代包括支援センターのことも家庭センター移行等体制整備に取り組めます。 (後略)	将来、家庭を築くための思春期の健康教育や不妊治療への支援を継続します。妊娠期から子育て期にわたり、身近で切れ目のない伴走型の相談支援を行うため、妊婦全員との面接を継続し、母子手帳アプリを活用した情報発信を行います。 (後略)																	
30	⑩-1 乳幼児期等の支援 ◆就学前の教育・保育の充実	現在の取組内容に合わせた文言整理	(前略) また、保幼小連携・接続については、「保・幼・小連携推進地区」等における架け橋期のカリキュラムや教育方法の工夫・改善を重ね、全市的な取組につなぐことで、学童期への円滑な接続を図るとともに、乳幼児期から学童期の発達の連続性を見通した教育・保育に取り組めます。	(前略) また、保幼小連携・接続については、「保・幼・小連携推進地区」等における架け橋期のカリキュラムの作成や教育方法の工夫・改善を図り、学童期への円滑な接続を図るとともに、乳幼児期から学童期の発達の連続性を見通した教育・保育に取り組めます。																	

該当 ページ	該当箇所	変更内容等	変更前	変更後																		
31	⑪-2 心と体の健やかな成長への支援 【主な事業等】	事業の削除・追加	<div><div>・児童手当</div><div>・児童扶養手当</div><div>・ひとり親家庭医療費助成事業</div><div>・母子家庭等高等職業訓練促進給付金</div><div>・母子家庭等自立支援教育訓練給付金</div><div>・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業</div><div>・(新設)</div></div> <div><div>・母子父子寡婦福祉資金貸付事業</div><div>・高知チャレンジ塾運営事業</div><div>・子ども医療費助成事業</div></div>	<div><div>・児童手当</div><div>・児童扶養手当</div><div>・ひとり親家庭医療費助成事業</div><div>・母子家庭等高等職業訓練促進給付金</div><div>・母子家庭等自立支援教育訓練給付金</div><div>・(削除)</div><div>・高知市中学進学時祝金支給事業</div></div> <div><div>・母子父子寡婦福祉資金貸付事業</div><div>・高知チャレンジ塾運営事業</div><div>・子ども医療費助成事業</div></div>																		
34	⑬-1 交流・連携の推進(再掲) 【KPI】	KPIの修正	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>包括連携協定に基づく連携事業のうち</td><td>238件</td><td>210件以上</td></tr><tr><td>地方創生に資する取組事業数(再掲)</td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	包括連携協定に基づく連携事業のうち	238件	210件以上	地方創生に資する取組事業数(再掲)	(令和4年度)	(令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>包括連携協定に基づく連携事業数</td><td>258件</td><td>280件以上</td></tr><tr><td>(再掲)</td><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	包括連携協定に基づく連携事業数	258件	280件以上	(再掲)	(令和4年度)	(令和10年度)
KPI	基準値	目標値																				
包括連携協定に基づく連携事業のうち	238件	210件以上																				
地方創生に資する取組事業数(再掲)	(令和4年度)	(令和10年度)																				
KPI	基準値	目標値																				
包括連携協定に基づく連携事業数	258件	280件以上																				
(再掲)	(令和4年度)	(令和10年度)																				

該当 ページ	該当箇所	変更内容等	変更前	変更後																				
39	⑩-1 高齢者の介護予防と社会参加の促進及び地域生活支援 【KPI】	基準値の修正	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="3">健康寿命(65歳の平均自立期間)</td><td>男性17.68</td><td>男性18.57</td></tr><tr><td>女性21.89</td><td>女性22.49</td></tr><tr><td>(令和3年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.68	男性18.57	女性21.89	女性22.49	(令和3年度)	(令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="3">健康寿命(65歳の平均自立期間)</td><td>男性17.50</td><td>男性18.57</td></tr><tr><td>女性21.00</td><td>女性22.49</td></tr><tr><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.50	男性18.57	女性21.00	女性22.49	(令和4年度)	(令和10年度)
	KPI	基準値	目標値																					
健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.68	男性18.57																						
	女性21.89	女性22.49																						
	(令和3年度)	(令和10年度)																						
KPI	基準値	目標値																						
健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.50	男性18.57																						
	女性21.00	女性22.49																						
	(令和4年度)	(令和10年度)																						
	⑩-1 高齢者の介護予防と社会参加の促進及び地域生活支援 ◆生きがいづくり・社会参加の促進	現在の取組内容に合わせた文言整理	高齢者が自身の持つ能力を最大限に活かしながら、自分の望む生活が継続できるとともに、地域での仲間づくりや健康づくり活動に積極的に取り組めるよう「自立をめざした支援」に取り組みます。 <u>また、ボランティア活動や地域での互助活動などへの参加を促進するとともに、働く意欲のある高齢者に対して就業機会の提供にも取り組みます。</u>	高齢者が自身の持つ能力を最大限に活かしながら、自分の望む生活が継続できるとともに、地域での仲間づくりや健康づくり活動に積極的に取り組めるよう「自立をめざした支援」に取り組みます。 (削除)																				
40	⑩-2 地域福祉の推進 【主な事業等】	事業の追加	◆地域福祉の推進	◆地域福祉の推進 <u>・地域の多様な担い手の発掘と育成</u> <u>・だれもが活躍できる地域づくり</u> <u>・安全・安心につながる環境づくり</u> <u>・地域での課題解決力の強化</u> <u>・包括的な相談支援体制の充実</u>																				
44	⑩-6 歴史・地域文化の継承・発展 【KPI】	総合計画後期基本計画第2次実施計画登載事業の評価指標と合わせるための目標値変更	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="2">社会科自由研究作品展出品校数</td><td>29校</td><td>39校</td></tr><tr><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	社会科自由研究作品展出品校数	29校	39校	(令和4年度)	(令和10年度)	<table><tr><th>KPI</th><th>基準値</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="2">社会科自由研究作品展出品校数</td><td>29校</td><td>30校</td></tr><tr><td>(令和4年度)</td><td>(令和10年度)</td></tr></table>	KPI	基準値	目標値	社会科自由研究作品展出品校数	29校	30校	(令和4年度)	(令和10年度)				
KPI	基準値	目標値																						
社会科自由研究作品展出品校数	29校	39校																						
	(令和4年度)	(令和10年度)																						
KPI	基準値	目標値																						
社会科自由研究作品展出品校数	29校	30校																						
	(令和4年度)	(令和10年度)																						
50,51,53,54	4 数値目標及びKPI一覧表	数値目標の変更等	—	—																				
57	6 用語解説	瑕疵修正	Society 5.0 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決が両立する社会。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工場社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会のこと。	Society 5.0 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決が両立する社会。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会のこと。																				

※各施策におけるSDGsの追加及び軽微な修正を除きます。